令和２年度

部局別予算要求のポイント

令和元年11月

高　山　市

・各部局の要求額は、人件費、繰出金及び予備費等を含んでいません。

企　画　部

要求額

単位：千円、％

会計名	平成３１年度 当初予算額	令和２年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	477,490	299,708	△ 177,782	△ 37.23

主な増減理由

- ・第八次総合計画見直しに関する経費の減　△２，５００千円
- ・若者等活動拠点施設整備事業の減　△２０６，５００千円
- ・若者等活動拠点施設管理運営事業の増　６，０００千円
- ・国勢調査事業の増　３３，０００千円
- ・ものづくりに関わる若手人材の育成に関する経費の増　３，５００千円

要求に関する基本方針

○ 第八次総合計画の着実な推進と市長公約の実現

○ 大学連携・若者支援の推進

○ ふるさと寄附の推進

○ 飛騨高山ブランドの確立に向けた施策の強化

要求のポイント

（　　　）は前年度予算額

＜行財政運営＞

○ 若者支援の推進　６，０００千円
（０千円）

若者等活動拠点施設（仮称）の管理運営に必要な経費を計上
・施設の管理運営

○ ふるさと寄附の推進　１５２，７２０千円
（１４９，４８０千円）

ふるさと寄附の推進に必要な経費を計上
・ふるさと寄附ＰＲ

＜商業＞

○ 飛騨高山ブランドの意識醸成と情報発信　３９，８７６千円
（３４，２７４千円）

飛騨高山ブランドの確立を図るために必要な経費を計上
・インナーブランディング事業の推進
・飛騨高山ブランドを支える人材の育成

＜交流＞

○ 移住者への支援　　　　　　　　　　　　　　　１８，４２４千円
（１９，５０４千円）

移住促進を図るために必要な経費を計上
・飛騨高山への移住の促進

総　務　部

要求額

単位：千円、％

会計名	平成３１年度 当初予算額	令和２年度 要求額	対前年度増減額	
				増減率
一般会計	1,117,344	1,080,796	△ 36,548	△ 3.27

主な増減理由

・防災無線中継局整備の増　７６，８４４千円
・ライフライン保全に関する経費の増　２０，０００千円
・行政分野における最新技術の活用に関する経費の増　１７，２３６千円
・選挙費の減　△８４，４９１千円
・情報システム整備改修に関する経費の減　△３９，２１１千円

要求に関する基本方針

○ 行政を取り巻く環境の変化に的確に対応できる職員の育成

○ 開かれた市政（広報広聴）による市民とのよりよい関係づくり

○ 安定した公共サービスが提供できる持続可能なまちづくりに向けた効率的かつ効果的な行政経営の推進

○ 市民の生命・身体及び財産を災害から守るための体制整備

要求のポイント

（　　　　）は前年度予算額

＜防災＞

○ 実践的な防災訓練の実施　４，１１２千円
（４，１００千円）

地震等を想定した実践的な防災訓練に必要な経費を計上
・実践的な防災訓練の実施

○ 災害対策事業の推進　３７８，４５１千円
（２９７，０５１千円）

災害の発生に備え、防災体制の充実を図るために必要な経費を計上
・防災備蓄品の充実
・ライフライン保全の推進

＜協働＞

○ 行政情報の提供と広聴事業の推進　　９８，３７７千円
（９５，５７４千円）

各種媒体による情報発信に必要な経費を計上
・広報たかやまの発行、ＦＭ・ＣＡＴＶにおける番組制作・配信

＜行財政運営＞

○ 職員の意識改革と資質向上の推進　　２２，３６２千円
（２３，１００千円）

職員研修や人事交流に必要な経費を計上
・職員の意欲の向上や適正かつ効率的な事務執行につながる研修の充実
・行政課題に的確に対応できる職員の育成

○ 効率的かつ効果的な行政経営の推進　　７０５千円
（１，１９２千円）

行政経営の推進のために必要な経費を計上

＜情報＞

○ 電子市役所の推進　　３９８，２５９千円
（４１０，４７５千円）

情報システムの整備、運用に必要な経費を計上
・ＡＩ（人工知能）、ＲＰＡ（ロボティック・プロセス・オートメーション）
　など最新技術の活用推進
・情報システムの更新と維持管理
・情報セキュリティの推進

財　務　部

要求額

単位：千円、％

会計名	平成３１年度 当初予算額	令和２年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	4,994,694	4,712,061	△ 282,633	△ 5.66

主な増減理由

・市債残高の減少及び利率見直しによる公債費の減　△２５８，７５９千円
・本庁舎老朽化による工事修繕の増　２８，９９１千円
・庁舎電気料金契約内容変更による電気使用料の減　△１５，５９４千円

要求に関する基本方針

○ 第八次総合計画の着実な推進と市長公約の実現

○ 社会情勢の変化や行政課題に対応した財産管理の推進

○ 公平な課税と税収納率の向上

要求のポイント

（　　　　）は前年度予算額

＜行財政運営＞

○ 庁舎等の適正管理　４３３，９４２千円
（４４２，８９０千円）

行政事務の円滑な実施に必要な経費を計上
・庁舎、公用車等の維持管理

○ 財産管理の適正化と効率的な運用　８５，５５１千円
（６８，３８３千円）

公有財産の適正な管理と未利用財産の活用や処分に必要な経費を計上
・市営墓地の管理
・市有施設の火災保険の加入
・普通財産の管理や活用、処分のための測量業務
・不要建物の解体

○ 公平な課税と税収納率の向上　３９，６８０千円
（７３，６００千円）

固定資産税等の公平・公正な賦課を行うために必要な経費を計上
・字絵図書替
・家屋所在地番等調査
・固定資産現況調査等
・土地鑑定評価

市　民　活　動　部

要求額

単位：千円、％

会計名	平成３１年度 当初予算額	令和２年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,139,146	1,313,746	174,600	15.33

主な増減理由

・町内会集会施設整備事業の増　１０，８９０千円
・生涯学習施設整備費の増　１０７，６１３千円
・飛騨高山文化芸術祭の減　△５５，０００千円
・スポーツ施設整備費の増　７４，００３千円
・高地トレーニングエリア施設改修工事費の増　２３，５８３千円

要求に関する基本方針

○ 協働のまちづくりの推進による地域コミュニティの活性化

○ 学びの場の充実と学んだ成果を地域づくりに活かす生涯学習の推進

○ 日々の暮らしやまちづくりに活かす文化芸術活動の推進

○ 生涯にわたり日常的にスポーツに親しめる環境づくり

要求のポイント

（　　　　）は前年度予算額

＜協働＞

○ 協働のまちづくりの推進　２８７，４１９千円
（２７３，３００千円）

地域づくり活動及び市民活動の促進と協働の推進に必要な経費を計上
・まちづくり協議会の地域の課題解決に向けた取り組みへの支援
・市民活動団体への支援
・まちづくりを担う人材の育成
・町内会防犯灯の改修等の助成
・防犯カメラ設置に対する助成
・町内会集会施設整備に対する助成

○ 男女共同参画の推進　１，０９８千円
（１，２３２千円）

第５次高山市男女共同参画基本計画の推進に必要な経費を計上
・講演会や講座などの開催
・ワーク・ライフ・バランスの推進

＜交流＞

○ 平和に関する意識の醸成　４６１千円（１，１００千円）

平和に対する意識の高揚を図るために必要な経費を計上

・高山市平和の日や平和都市宣言の啓発

＜安全＞

○ 交通安全の推進　８，５４２千円（３，５９１千円）

交通安全に対する意識の醸成、交通安全対策に必要な経費を計上

・交通安全教室の実施

＜生涯学習＞

○ 生涯学習の推進　５２８，９１９千円（４４４，２０１千円）

生涯学習機会の提供や生涯学習施設の維持管理に必要な経費を計上

・地域づくりにつながる生涯学習の推進
・子ども夢創造事業（科学）の実施
・生涯学習施設の整備と維持管理　ほか

＜文化芸術＞

○ 文化芸術の振興　６５，９９４千円（１０９，４９０千円）

文化芸術の市民生活への浸透と文化芸術の振興を図るために必要な経費を計上

・市民の自主的な文化芸術活動に対する支援
・飛騨高山国際現代木版画トリエンナーレ２０２０の開催
・市美術展覧会の開催
・子ども夢創造事業（文化芸術）の実施
・文化芸術鑑賞事業の実施

＜スポーツ＞

○ スポーツ活動の充実　３７，５８３千円（２３，３７７千円）

スポーツ機会の提供や競技力向上などに必要な経費を計上

・子ども夢創造事業（スポーツ）の実施
・地域スポーツ、障がい者スポーツ、高齢者スポーツの推進
・スポーツ少年団、スポーツ大会開催に対する支援
・ねんりんピック大会開催に対する支援

○ スポーツ施設の整備　２９６，６１３千円（２１７，４０２千円）

スポーツ施設の整備や維持管理に必要な経費を計上

・スポーツ施設の整備と維持管理
・夜間照明設備の維持管理

○ 高地トレーニングエリアの整備と機能強化　５２，２４６千円（３０，８３４千円）

高地トレーニング施設の整備や維持管理、活用のために必要な経費を計上

・高地トレーニング施設の整備と維持管理
・トップアスリート受入れ体制の整備及び利用の促進

福　祉　部

要求額

単位：千円、％

会計名	平成３１年度 当初予算額	令和２年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	9,611,478	9,342,033	△ 269,445	△ 2.80
介護保険事業特別会計	9,554,606	9,551,000	△ 3,606	△ 0.04

主な増減理由

- 障がい福祉サービス給付費の増　９３，２９１千円
- 福祉医療給付事業費の減　△３８，１５６千円
- 児童福祉施設整備費助成事業の減　△２３７，０００千円
- 公立保育園運営事業の増　３１，５７１千円
- 障がい児通所支援事業の増　３６，１０７千円
- 保険給付費の減（介護特会）　△４８，０００千円
- 地域支援事業費の増（介護特会）　６８，４０９千円

要求に関する基本方針

○ 住み慣れたまちに快適に安心して住み続けるための支援

○ 子どもが健やかに育つ環境整備の推進

○ 介護予防の推進及び安定した介護サービスを提供する体制の整備

要求のポイント

（　　　　）は前年度予算額

＜地域福祉＞

○ 総合的な相談支援　２４，１８７千円（２３，８２４千円）

福祉サービス総合相談支援センターの運営に必要な経費を計上

・一般相談、生活困窮者相談、障がい者（児）相談

○ 低所得者への支援　５９０，００１千円（６１０，００１千円）

適切な生活保護制度運営に必要な経費を計上

・生活保護受給者への支援

＜障がい者福祉＞

○ 障がい者が安心して快適に暮らせる環境づくり

２，１８３，００７千円
（２，０９０，５８６千円）

障がい福祉サービス等の提供に必要な経費を計上
・障がい福祉サービス給付
障がい者の自立した地域生活と社会参加の促進に必要な経費を計上
・障がい者雇用に対する助成
・民間施設のバリアフリー化の促進

＜児童福祉＞

○ 子どもへの途切れのない支援体制の強化　４７６，７６０千円
（４２２，１４３千円）

保健、福祉、教育が連携した、子どもへの支援体制に必要な経費を計上
・母子健康事業と家庭児童相談の情報連携の強化
・子育て世帯の貧困等への対応

○ 安心して子育てができる環境の整備　３３９，５４１千円
（２９０，６９８千円）

子どもが健やかに育つ環境づくりに必要な経費を計上
・放課後児童クラブ、つどいの広場などの運営
・子どもの遊び場や居場所づくりに対する支援

○ 良好な保育環境の確保　２，３７４，４６４千円
（２，５６８，２０６千円）

良好な保育環境の確保に必要な経費を計上
・私立保育所等の運営支援、公立保育所の運営
・幼児教育無償化への対応

＜高齢者福祉＞

○ 高齢者の安全で安心した生活の支援　４１８，１９４千円
（３６０，１５１千円）

高齢者の安全で安心な生活や生きがいづくりを支援するための経費を計上
・通院や買い物など外出支援
・認知症高齢者の経済的負担に対する助成
・介護人材の確保に対する支援

○ 老人福祉施設の運営　１２７，１３４千円
（１０３，５５４千円）

老人福祉施設の運営・維持管理に要する経費を計上
・福祉センター等の運営　ほか

○ 健全な介護保険事業の運営　８，９４１，９２８千円
（９，０１２，５１７千円）

介護認定、保険料の賦課徴収、介護給付に必要な経費を計上
・介護サービス等の給付、介護認定審査会の開催

○ 介護予防の推進及び包括的な支援の実施　６０５，４６３千円
（５３７，０５４千円）

高齢者の介護予防、包括的支援体制の整備に要する経費を計上
・地域包括支援センターの委託
・要支援者等に対する介護予防・生活支援に関する事業の実施
・高齢者健康教室の開催、自主活動の支援、認知症施策の推進
・在宅で介護する家族に対する支援

市　民　保　健　部

要求額

単位：千円、％

会計名	平成３１年度 当初予算額	令和２年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,863,142	1,879,437	16,295	0.87
国民健康保険事業特別会計(事業)	9,420,677	9,131,980	△ 288,697	△ 3.06
国民健康保険事業特別会計(直診)	187,527	204,761	17,234	9.19
後期高齢者医療事業特別会計	1,220,233	1,338,685	118,452	9.71

主な増減理由

・マイナンバーカードの取得促進に関する経費の増　４１，２９９千円
・医療確保等支援事業の増　６，２６５千円
・国保特別会計の保険給付費の減　△１７８，５３６千円
・後期高齢者医療広域連合納付金の増　１１６，３９６千円

要求に関する基本方針

○ 新火葬場建設の推進

○ 健康寿命の延伸

○ 地域医療体制の確保

○ 国民健康保険制度の円滑な運営

要求のポイント

（　　　　）は前年度予算額

〈生活環境〉

○ 火葬場の運営　５１，４０５千円
（５１，１９０千円）

市営火葬場の維持管理に必要な経費を計上
・火葬場の設備改修と維持管理

○ 新火葬場建設準備　１，４４９千円
（３，９５１千円）

火葬場の建設準備に必要な経費を計上
・市民説明会の開催

＜保健＞

○ 市民の健康意識の醸成と健康増進　６１０，８８８千円
（６３２，９１７千円）

市民の健康増進のために必要な経費を計上
- ・健康づくりの推進
- ・母子保健事業の推進
- ・健康診査、がん検診の実施
- ・予防接種の実施

○ 後期高齢者の健康増進　５０，７８９千円
（４９，０１０千円）

後期高齢者の健康増進のために必要な経費を計上
- ・すこやか健診及びさわやか口腔健診の実施

＜医療＞

○ 地域医療及び救急医療体制の確保　４８１，８６１千円
（４５７，１８６千円）

医師確保のための環境整備や救急医療体制の確保に必要な経費を計上
- ・休日診療所の運営
- ・２４時間電話医療相談
- ・在宅当番医制、病院群輪番制、救命救急センターの運営に対する助成
- ・岐大医学部地域枠（地域医療コース）入学者への修学支援
- ・直営診療所の運営

○ 国民健康保険制度の運営　９，１３１，９８０千円
（９，４２０，６７７千円）

国民健康保険事業の円滑な実施及び運営に必要な経費を計上
- ・特定健康診査など保健事業の推進

＜行財政運営＞

○ マイナンバーカードの普及促進　６６，１６０千円
（２４，８６１千円）

- ・マイナンバーカードの取得促進
- ・各種証明書のコンビニ交付の利用啓発

環　境　政　策　部

要求額

単位：千円、％

会計名	平成３１年度 当初予算額	令和２年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,409,185	1,682,911	273,726	19.42

主な増減理由

・ごみ焼却処理事業費の増　１２６，８８６千円
・自然公園内の山岳トイレの整備事業費の増　２０，０００千円

要求に関する基本方針

○ 自然エネルギーによるまちづくりの推進

○ 地球温暖化対策の推進による温室効果ガス排出の削減

○ 自然と共生するまちを目指した生物多様性保全の推進

○ 自然公園の適正管理による安全で快適な利用の推進

○ 公害の発生防止

○ ごみ処理施設の適正な維持管理

要求のポイント

（　　　　）は前年度予算額

〈地球環境〉

○ 自然エネルギーを活用したまちづくりの推進

４２，８７６千円
（４０，３２０千円）

自然エネルギー活用の普及促進に必要な経費を計上
・自然エネルギー活用の普及啓発
・積まマイカーの運行によるエネルギーの地産地消の促進
・ペレット・薪・チップなど木質バイオマスストーブ、ボイラーの導入支援
・地域主導による自然エネルギーの活用支援

○ 地球温暖化対策の推進

６，０８０千円
（６，１５０千円）

地球温暖化対策の推進に必要な経費を計上
・クリーンエネルギー自動車の普及促進

○ 生物多様性保全の推進　９，１７５千円
（１０，１８５千円）

自然環境の保全や生物多様性保全の意識啓発に必要な経費を計上
・乗鞍山麓五色ヶ原の森等を活用した自然環境学習
・いのちの森づくり（苗木植樹等）
・特定外来生物の防除

○ 自然公園の保全と活用　１２１，４４８千円
（９７，８１６千円）

自然公園等の保全と活用を図るために必要な経費を計上
・乗鞍山麓五色ヶ原の森の維持管理
・ジオパーク、ユネスコエコパークの推進
・中部山岳国立公園の活性化
・山岳トイレの整備に対する支援

○ 快適に暮らせる環境の整備　４，１１６千円
（４，０３０千円）

公害発生の防止に必要な経費を計上
・河川水質の監視、騒音・悪臭苦情にかかる調査

○ 資源循環型社会の実現　１，４９９，２１６千円
（１，２５０，６８４千円）

ごみの収集、焼却、埋立、減量化、資源化や施設の維持管理等に必要な経費を計上
・家庭や事業所から排出されるごみの減量化及び資源化
・長期修繕計画に基づくごみ焼却施設の保守点検及び修繕

農　政　部

要求額

単位：千円、％

会計名	平成３１年度 当初予算額	令和２年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,291,740	1,327,493	35,753	2.77
地方卸売市場 事業特別会計	29,800	28,200	△ 1,600	△ 5.37

主な増減理由

- ・飛騨農業共済事務組合負担金の減　△７８，７７９千円
- ・農業施設整備助成事業の増　６３，９７８千円
- ・農業土木施設整備事業の増　２７，１４８千円
- ・家畜防疫衛生事業の増　３２，３７５千円
- ・繁殖牛舎整備費助成事業の減　△２８，９００千円
- ・家畜改良推進事業の増　７１０千円

要求に関する基本方針

○ 活気ある第一次産業産地づくりと担い手の育成・確保

○ 地域ぐるみでの農地・施設の保全と鳥獣被害対策の推進

○ ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり

要求のポイント

（　　　　）は前年度予算額

＜農業＞

○ 農産物のブランド化の推進　１５６，９７８千円（９３，０００千円）

農業基盤の強化、担い手支援のために必要な経費を計上
・機械、施設整備導入に対する助成

○ 農作物獣害防止対策の推進　８９，４５１千円（１００，２２０千円）

鳥獣による農作物への被害を防止するために必要な経費を計上
・捕獲技術者の確保に対する助成
・地域ぐるみの鳥獣被害防止活動や侵入防止柵の整備等に対する助成

○ 農業生産基盤の強化　　２０６，０２８千円
（１７６，６８０千円）

農業生産基盤施設の老朽化及び維持管理の負担軽減を図るために必要な経費を計上
・農道、農業用施設の整備
・県営土地改良事業の推進

＜畜産業＞

○ 家畜伝染病対策の強化　　４０，０１０千円
（７，６３５千円）

家畜伝染病対策の強化に必要な経費を計上
・ＣＳＦ及び家畜伝染病対策、畜舎防疫設備整備の強化

○ 活力ある畜産生産地づくり　　６７，６７３千円
（９５，６５０千円）

家畜飼育数の増頭支援に必要な経費を計上
・牛舎整備に対する支援
・次回全国和牛能力共進会に向けた応援団の設立準備
・全国ホルスタイン共進会出場に対する支援

林　政　部

要求額

単位：千円、％

会計名	平成３１年度 当初予算額	令和２年度 要求額	対前年度増減額	
				増減率
一般会計	489,551	514,508	24,957	5.10

主な増減理由

・森林境界の明確化の推進に関する経費の増　　５０，６９６千円

要求に関する基本方針

○ 100年先の森林づくりに向けた森林整備の推進

○ 森林整備のための森林境界明確化の推進

○ 森林技術者の育成確保、新規就業者への支援

○ 市産材の利用促進

要求のポイント

（　　　　）は前年度予算額

＜林業＞

○ 森林の適切な管理　　１７１，６９９千円
（１７６，４２３千円）

森林の適切な管理に必要な経費を計上
・森林整備の促進
・林道整備の推進

○ 森林境界明確化の推進　　２７５，５３７千円
（２３１，７５６千円）

森林境界の明確化に必要な経費を計上
・地籍調査事業の推進
・森林境界明確化事業の推進

○ 担い手の育成・確保　　３，３６１千円
（１，２００千円）

担い手の育成・確保の取り組みに必要な経費を計上
・林業就業者への支援

商　工　観　光　部

要求額

単位：千円、％

会計名	平成３１年度 当初予算額	令和２年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	2,349,825	2,663,859	314,034	13.36
観光施設事業特別会計	92,157	90,098	△ 2,059	△ 2.23

主な増減理由

- ・市制度資金融資預託金等の減　△４１，６５０千円
- ・人道橋左岸側の賑わい創出空間整備の増　３８，５０９千円
- ・若者定住促進に関する経費の増　３９，７８４千円
- ・地域経済構造分析を踏まえた施策の推進に関する経費の増　９，９００千円
- ・観光施設等整備の増　２０３，２１１千円

要求に関する基本方針

○ 中小企業の経営の安定化のための融資事業の推進

○ 起業家の増加に向けた受入環境の整備

○ 地域経済構造分析を踏まえた施策の推進

○ 伝統的工芸品産業等の技術の継承、後継者育成に向けた施策の推進

○ 中心市街地の活性化に向けた施策の推進

○ 企業誘致対策の推進

○ 産業を担う人材の確保・育成

○ 時代を先取りした観光地づくりの推進

○ 利用者の満足度向上や安全管理のために必要な観光施設の整備

要求のポイント

（　　　　）は前年度予算額

＜商業＞＜工業＞＜労働＞

○ 中小企業等融資事業の推進　１，１８４，６３０千円
（１，２２７，５００千円）

中小企業者、勤労者向けの低利融資の実施に必要な経費を計上

- ・小口融資、経営安定特別資金融資
- ・勤労者生活安定資金融資

＜商業＞＜工業＞

○ 起業家の受入環境等の整備　９０，７２６千円
（８５，０００千円）

起業家の育成・支援に必要な経費を計上
・起業家に対する支援、創業支援資金融資
・タウンマネージャー育成、インキュベーション施設の運営

○ 地域経済構造分析を踏まえた施策の推進　１４，２４４千円
（３，９５０千円）

地域経済構造分析を踏まえた施策の推進に必要な経費を計上
・地域経済懇談会の実施
・新たな産業施策の立案及び課題解決のための調査・研究

○ 地場産品の販売促進活動の推進　１７，４３３千円
（２１，０００千円）

地場産品等の積極的な宣伝・販路拡大に必要な経費を計上
・飛騨高山展開催事業に対する支援、飛騨高山フェアinイオンの開催
・都市圏での情報発信の強化

○ 伝統的工芸品産業等の振興　５０，３６６千円
（４８，８０５千円）

伝統的工芸品産業等の振興、後継者育成等に必要な経費を計上
・後継者育成事業、伝統的工芸品産業団体に対する支援等
・飛騨高山の名匠認定

＜商業＞

○ 中心市街地の活性化　１２５，４７８千円
（９１，３４０千円）

にぎわいのある商業空間の形成と中心市街地の活性化に必要な経費を計上
・人道橋左岸側周辺の賑わい創出に係る整備
・まちづくり会社が行う中心市街地活性化事業に対する支援
・商店街の空き店舗活用や景観形成に対する支援

＜工業＞

○ 企業誘致対策の推進　１１８，６６８千円
（９４，３２５千円）

企業誘致の推進に必要な経費を計上
・サテライトオフィス等を活用した企業誘致活動

＜労働＞

○ 労働力確保に向けた施策の推進　１７７，９２０千円
（１２４，２８０千円）

ＵＩＪターン就職する若者への支援・労働力確保に必要な経費を計上
・ＵＩＪターン就職者に対する家賃・奨学金返済支援
・地元就職者に対する支援

＜観光＞

○ 誘客宣伝の実施　２５４，９３５千円
（２４３，１８５千円）

観光宣伝、高山祭、各種イベントなど、誘客に必要な経費を計上
・広域連携誘客宣伝事業の推進
・飛騨高山ウルトラマラソンの開催
・観光関連団体の誘客宣伝事業等に対する助成
・若者の合宿やゼミ宿泊誘致に対する助成
・ニューツーリズムの推進

○ 観光施設の運営　５４６，１９８千円
（３４５，０４６千円）

温泉施設、キャンプ場、スキー場等の運営及び施設整備等に必要な経費を計上
・観光施設の運営、整備

建　設　部

要求額

単位：千円、％

会計名	平成３１年度 当初予算額	令和２年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	2,541,231	2,642,005	100,774	3.97

主な増減理由

- 道路新設改良事業の減　△１４１，８９７千円
- 街路事業の増　３２８，９９３千円
- 道路橋りょう維持修繕事業の減　△１１５，１５０千円
- 市営駐車場整備事業の増　２０，４５２千円

要求に関する基本方針

○ 高速道路網、地域間連絡道路網の整備促進による道路利用者の快適性の向

○ 新たな歩行環境整備による中心市街地の回遊性の向上

○ 道路などの安全性確保と道路網の健全な維持（地域要望への対応）

要求のポイント

（　　　　）は前年度予算額

＜道路＞

○ 街路事業の推進　４０６，６４１千円
（７７，６４８千円）

道路交通の円滑化を図るための街路整備に必要な経費を計上
- 松之木千島線

○ 道路新設改良事業の推進　２４９，９９３千円
（４８８，８９０千円）

道路交通の円滑化を図るための道路新設改良に必要な経費を計上
- 旅行村線、上切中切２号線ほか

○ 道路維持修繕事業の推進　５２２，８５０千円
（６３８，０００千円）

道路の安全性確保や道路網の維持に必要な経費を計上
- 道路修繕、側溝修繕、舗装修繕、橋りょう修繕

○ 除雪対策事業の推進　６９２，５４１千円
（７０７，２００千円）

冬期間の交通確保を図る除雪対策に必要な経費を計上

・歩車道除雪委託、融雪剤購入、消融雪側溝整備、除雪車両の購入

＜防災＞

○ 橋りょう長寿命化改良事業の推進　２２０，０００千円
（１２３，０００千円）

橋りょうの長寿命化に必要な経費を計上

・長寿命化修繕計画に基づく橋りょうの長寿命化修繕を実施
（田頃家橋、鶴ノ巣橋、日和橋ほか）

海　外　戦　略　部

要求額

単位：千円、％

会計名	平成３１年度 当初予算額	令和２年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	89,504	109,453	19,949	22.29

主な増減理由

・姉妹友好都市等との交流事業の増　６，９３０千円
・職員の海外戦略派遣に関する経費の増　１３，７９０千円

要求に関する基本方針

○ 効果的な誘客プロモーション事業の展開と受入体制の強化

○ 海外販売促進のための事業者への支援

○ 姉妹友好都市等との交流推進

要求のポイント

（　　　　）は前年度予算額

＜海外戦略＞

○ 海外からの誘客促進　６３，４７８千円
（５２，３７０千円）

外国人観光客の誘客促進、受入体制の強化に必要な経費を計上
・多言語パンフレット等の作成
・旅行満足度に関するヒアリング調査
・滞在しやすい環境の整備（公衆無線LANの運営、多言語マップの作成など）
・官民協働、広域連携による効果の高い誘客プロモーション事業の展開
・職員の海外戦略派遣の実施

＜交流＞

○ 海外との交流推進　４５，９７５千円
（３７，１３４千円）

海外の姉妹友好都市との交流を推進するために必要な経費を計上
・市民の海外姉妹友好都市等への派遣
・国際交流員の招致、姉妹友好都市からの研修員の受入
・民間交流団体への支援

都　市　政　策　部

要求額

単位：千円、％

会計名	平成３１年度 当初予算額	令和２年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	987,565	946,459	△ 41,106	△ 4.16

主な増減理由

・観光特化型バスの購入等の減　△１７９，０００千円
・自主運行バスの運営経費の増　６８，６００千円
・無電柱化推進事業の増　１６３，０００千円
・耐震診断義務化建築物耐震化促進事業の減　△３７，３００千円

要求に関する基本方針

○ 市全域を見据えた総合的な土地利用の推進

○ 持続可能な総合交通施策の推進

○ 良好な景観の保全と創出の推進

○ 空家等の適切な管理、活用の推進

要求のポイント

（　　　　）は前年度予算額

＜公共交通＞

○ 持続可能な総合交通施策の推進　２９７，４９４千円
（２２８，３９４千円）

自主運行バスの運行に必要な経費を計上
観光特化型バスの運行に必要な経費を計上

＜景観＞

○ 良好な景観の保全と創出の推進　２４３，０００千円
（８０，０００千円）

まちなかの景観の保全と創出に必要な経費を計上
・上一之町花里線無電柱化の推進

＜住宅公園＞

○ 建築物の安全性向上　４３，１７７千円
（８３，１１０千円）

住宅等の耐震化促進に必要な経費を計上
・木造住宅等の耐震診断、建築物の耐震補強に対する支援
・ブロック塀の撤去等に対する支援

○ 空家等対策の推進　　　　　　　　　　　　　　　　９，１１４千円
（６，４４２千円）

空家等の適正管理や活用の促進に必要な経費を計上
・空家相談会、空家活用コンテストの開催
・空家等の活用、除却に対する助成

水　道　部

要求額

単位：千円、％

会計名	平成３１年度 当初予算額	令和２年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	211,210	225,840	14,630	6.93
下水道事業 特別会計	3,045,173	3,175,545	130,372	4.28
農業集落排水 事業特別会計	609,958	691,246	81,288	13.33
水道事業 会計	3,417,010	3,322,446	△ 94,564	△ 2.77

主な増減理由

- 三谷浄水場基幹改良の減（上水）　△９８，０００千円
- 中部縦貫自動車道、下水道関連の布設替工事の減（上水）　△９４，５００千円
- 下水処理施設長寿命化工事の増（下水）　３３５，０００千円
- 特定環境保全公共下水道管きょ整備工事の減（下水）　△２４０，０００千円

要求に関する基本方針

〇計画的な財政運営による上下水道事業の経営の安定化

〇安全安心な水を安定して供給するための施設整備

〇下水道施設整備及び水洗化の促進による生活環境の向上と公共用水域の水質保全

〇上下水道施設の防災対策の推進

要求のポイント

（　　　　）は前年度予算額

＜上下水道＞

〇施設の耐震化と遠方監視機能の推進　３７４，５１６千円
（３３８，６６８千円）

安全・安心な水を安定して供給するための施設整備に必要な経費を計上
- 施設の耐震化整備、遠方監視装置整備　ほか

〇基幹管路の耐震化と老朽管布設替の推進　５６９，９９４千円
（７７５，８２３千円）

安全安心な水を安定して供給するための施設改良に必要な経費を計上
- 基幹管路の耐震化整備
- 老朽管の布設替工事、道路改良に伴う布設替工事

○配水施設整備（拡張）の推進　　　　　　　　　　３７，２７８千円
（７２，３７９千円）

安全安心な水を安定して供給するための配水施設整備に必要な経費を計上

・未給水地区の解消

○下水管きょ施設の整備、下水道施設の防災対策、処理区域の統合の推進
２１２，１４３千円
（４０７，４８６千円）

生活環境の向上及び公共用水域の水質保全を図るための下水管きょ施設整備に必要な経費を計上

・マンホール蓋の更新
・マンホール断熱蓋の設置
・管きょ布設
・マンホールポンプの更新
・マンホールポンプ用非常用発電機の整備
・処理区域の統合に向けた設計業務

○下水処理施設の長寿命化　　　　　　　　　　５５８，１９８千円
（２１３，４２２千円）

生活環境の向上及び公共用水域の水質保全を図るための下水処理施設整備に必要な経費を計上

・宮川終末処理場沈砂設備の長寿命化工事（継続費）
・宮川終末処理場中央監視設備長寿命化工事
・宮川終末処理場焼却炉解体工事の設計業務
・特定環境保全公共下水道処理場設備の長寿命化工事
・農業集落排水処理場設備の長寿命化工事

会　計　室

要求額

単位：千円、％

会計名	平成３１年度 当初予算額	令和２年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,985	1,885	△ 100	△ 5.04

要求に関する基本方針

○ 合理的な会計事務の推進

要求のポイント

（　　　　）は前年度予算額

＜行財政運営＞

○ 適正な会計事務の実施　　１，８８５千円
（１，９８５千円）

効率的な出納事務遂行のための職員研修会の実施
公金管理の効率化
歳計現金の適正な管理

監　査　委　員　事　務　局

要求額

単位：千円、％

会計名	平成３１年度 当初予算額	令和２年度 要求額	対前年度増減額	
				増減率
一般会計	7,468	7,356	△ 112	△ 1.50

要求に関する基本方針

○ 市民の視点に立った公平公正な監査等の充実

要求のポイント

（　　　　）は前年度予算額

＜行財政運営＞

○ 適正な行財政運営に資する監査等の実施　６，１１９千円
（６，２００千円）

監査等の充実に必要な経費を計上

議　会　事　務　局

要求額

単位：千円、％

会計名	平成３１年度 当初予算額	令和２年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	29,220	33,065	3,845	13.16

主な増減理由

・デンバー市訪問（都市提携６０周年記念事業）の増　　３，６００千円

要求に関する基本方針

○ 市民にとって、わかりやすく開かれた議会運営

要求のポイント

（　　　　）は前年度予算額

＜行財政運営＞

○ 開かれた議会運営　　３３，０６５千円（２９，２２０千円）

議会運営に必要な経費を計上

- 議会・委員会等の中継
- 議会広報紙の発行
- 市民意見交換会（地域別・分野別）の開催

教　育　委　員　会　事　務　局

要求額

単位：千円、％

会計名	平成３１年度 当初予算額	令和２年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	2,788,162	3,307,388	519,226	18.62
学校給食費 特別会計	398,900	395,066	△ 3,834	△ 0.96

主な増減理由

・小中学校校舎大規模改修事業の増　４７０，６９４千円
・小中学校施設の維持管理に関する経費の増　８９，７６２千円
・教育系ICT整備による教育機器整備事業の増　６４，６８４千円
・幼児教育の無償化による幼児教育支援事業の増　５３，６０５千円

要求に関する基本方針

○ 教育の質や教育力の向上と、地域全体による郷土教育の推進

○ 学びのセーフティネットの構築

○ 地域文化の継承や歴史的町並保存の推進

要求のポイント

（　　　　）は前年度予算額

＜学校教育＞

○ 教育の充実　２２３，７７３千円
（２７１，４７８千円）

教育の充実に必要な経費を計上
・次期学習指導要領に添った学習の充実
・個別指導体制の充実
・特別支援教育の充実
・あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施
・郷土教育（リーダー育成のためのキャリア教育）の推進
・部活動の支援体制の充実

○ 教育環境の整備　１６９，５０５千円
（１６１，７２０千円）

教育環境の整備に必要な経費を計上
・教材備品の購入
・電子黒板、デジタル教科書の整備

○ 安全・安心・快適な学校施設等の整備　　１，７６８，０９４千円
（１，２２８，５４０千円）

学校施設等の安全・安心・快適な環境整備に必要な経費を計上
- ・学校施設の長寿命化改修（新宮小、丹生川中学校校舎）
- ・特別教室へのエアコン設置
- ・スクールバスの更新

○ 幼児教育、高等教育の充実　　２０５，８５１千円
（１６０，７１０千円）

幼児教育、高等教育の充実に必要な経費を計上
- ・私立幼稚園における施設型給付費等の給付
- ・私立高等学校、短期大学等に対する助成
- ・高校通学等に対する助成

○ 学校給食センターの運営　　１７１，９８７千円
（２２８，７０２千円）

児童生徒の心身の健全な発達を図るために必要な給食運営経費を計上
- ・学校給食センターの運営
- ・学校給食費の保護者負担の軽減

○ 魅力ある学校給食の提供　　３９５，０６６千円
（３９８，９００千円）

安全・安心で魅力ある学校給食の提供に必要な経費を計上
- ・献立の充実（アレルギー対応、地産地消等）

＜文化＞

○ 地域文化継承への支援　　４，４６０千円
（４，４６０千円）

地域の文化継承に必要な経費を計上
- ・ユネスコ無形文化遺産等の継承支援
- ・ふるさと伝承記録の整備
- ・伝承芸能保存団体に対する助成

○ 歴史的町並み保存の推進　　８３，８５１千円
（８０，７７０千円）

歴史的な町並み保存の推進に必要な経費を計上
- ・伝統的建造物群保存地区保存対策に対する助成
- ・伝統的建造物群保存地区防災対策に対する助成
- ・歴史的建造物群耐震化対策事業

○ 歴史・文化活用の推進　　９５，２８９千円
（１０８，９２２千円）

歴史・文化を活用した地域づくりの推進に必要な経費を計上
- ・文化財施設（飛騨高山まちの博物館等）の維持管理

消　防　本　部

要求額

単位：千円、％

会計名	平成３１年度 当初予算額	令和２年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	714,975	883,449	168,474	23.56

主な増減理由

・県消防操法大会（高山会場）の開催に関する経費の減　△２７，７５８千円
・消防団施設更新の減　△２５，３８２千円
・救急救命の推進に関する経費の増　３５，７９６千円
・消防資器材整備の増　１２，９９０千円
・消防水利施設整備・維持管理の増　２６，９６７千円
・消防車両更新の増　１４８，６１９千円

要求に関する基本方針

○ 市民の安心・安全を確保するための消防装備の充実強化

○ 消防団員等の安全確保と消防団施設や資器材の整備による団活動の充実及び団員の士気高揚、団員の確保

要求のポイント

（　　　　）は前年度予算額

＜消防＞

○ 消防団活動の活性化　２８４，２９１千円
（３１２，０４９千円）

消防団活動の充実に必要な経費を計上
・消防団出動手当の充実
・消防団活動充実のための支援

○ 消防施設の更新整備　３３，２５８千円
（５８，６４０千円）

消防施設の更新整備に必要な経費を計上
・消防団車庫の更新
・消防署施設の修繕

○ 救急救命の推進　１８１，６１９千円
（１４５，８２３千円）

救急救命体制の充実を図るために必要な経費を計上
・ＡＥＤ機器のリース、屋外設置箱の購入
・消防緊急通信指令、消防救急デジタル無線の維持管理
・緊急通報受信体制の充実（ＮＥＴ１１９）

○ 消防資器材の整備　　　　　　　　　　　　　　　４１，６２０千円
（２８，６３０千円）

防災体制の充実を図るための資器材の整備に必要な経費を計上

・消防資器材の購入

○ 水利施設の整備　　　　　　　　　　　　　　　６６，６６７千円
（３９，７００千円）

防災体制の充実を図るための水利施設の整備に必要な経費を計上

・耐震性貯水槽の整備
・防火水槽、消火栓の維持管理

○ 消防車両の更新　　　　　　　　　　　　　　２２４，６１９千円
（７６，０００千円）

消防車両の更新に必要な経費を計上

・常備消防車両
・消防団車両